



学校だより3月号

【学校教育目標】「力を合わせ 笑顔が光る日限の子」

令和5年2月28日
横浜市立日限山小学校
〒233-0015

港南区日限山二丁目16番1
TEL 045(841)6561

喜び、祝うとき

～子どもたちの成長を感じて～

校長 岡崎 陽子

このところ、6年生が登校してくる姿をつい感慨深く見つめてしまいます。体がぐんと大きくなり、ランドセルが窮屈そうで、そのランドセルもそろそろその役目を終えるときが近づいていることを感じます。色褪せたりゴムが伸びきってしまったりした通学帽子を頭に乗せるようにして被っている姿は、微笑ましさと同時に誇らしさも感じます。1年生から使っているランドセルや通学帽子の大きさが変わらないだけに、子どもたちの成長をひと際感じてしまうのは、保護者や地域の皆様も同じ思いではないでしょうか。

6年間の成長もさることながら、子どもたちの1年間の成長もまた目を見張るものがあります。

1年生は、保育園児との交流を通して、自信をもって小学校生活が送れるようになりました。1つ上のお兄さんやお姉さんの役割を果たしていくことを積み重ねて、たくましが身につき、遊びにも学習にも積極的に取り組む様子が見られるようになりました。

2年生は、まち探検を通して、まちへの関心や愛着を深めていきました。探検や見学を通して、自分たちが暮らしているまちのよさや地域の方たちの思いや願いに気付くことができました。

3年生は、区の音楽会に向けての練習や発表を通して音楽に親しみ、みんなで作り出すハーモニーの美しさを感じることができました。学校生活の中に音楽があり、コロナ禍であっても音楽とふれあい、コロナ禍だからこそ音楽のもつ安らぎや豊かさを実感することができたと思います。

4年生は、日限山音頭や和太鼓の演奏を地域の方から教えていただく活動を通して、これまで大切にされてきたものへの地域の方々の思いや願いを感じ取り、これからも大切にしていきたいという気持ちをもつことができました。

5年生は、田んぼの活動を通して、米作りの大変さや奥深さにふれることができました。協力して取り組むからこそ味わうことができる達成感にも気付くことができました。身近に存在する舞岡公園の自然の豊かさは、多くの人の努力や協力で守られていることを学びました。

そして6年生。クラブ・委員会活動、全校たてわり活動などでリーダーとしての役割を担い、責任をもって果たす姿が光っていました。時には縁の下の力もちとなって支えていた姿もありました。自分のことだけでなく、周りのことも考えて行動したり、下学年に優しく接したりする中で身についた力は、きっと中学生になっても生きると思います。

3月17日（金）は本校の卒業式です。1年ずつ積み重ね、6年間の小学校生活を修了した子どもたちが次のステージへと羽ばたいていきます。小学校生活の約半分はコロナ禍でしたが、できないことを嘆くより、できることに感謝しながら、たくましく過ごしてきた子どもたちです。コロナ禍での制約をものともせず「こうすればできる」と工夫して取り組んできた姿に、私たち大人は励まされ、勇気づけられてきました。子どもたちから学んだことを大切に私たち大人も成長していきたいと思えます。

保護者・地域の皆様と共に子どもたち一人ひとりのこれまでの成長を喜び、祝い、ますますの成長を願いながら、3月を大切に過ごしたいと思えます。引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。